

9市町の議長会 ILC要望可決

岩手・宮城県協議会総会

住田

岩手・宮城県
国際市町議会

議長会(会長・熊谷昭浩大船渡市議会議長)の総会は6日、住田町世田米の町民ホールで開かれ、国際リニアアコライダー(ILC)の誘致を国に要望することなどを決めた。

本県の5市町(一関市、陸前高田市、大船渡市、平泉町、住田町)と宮城県の4市町(気仙沼市、登米市、栗原

市、南三陸町)の正副議長ら27人が出席。熊谷会長は「震

災復興と持続可能な地域づくりのため、互いに発展する仕組みが必要だ」とあいさつした。



国際リニアアコライダーの誘致実現など国への要望を決めた岩手・宮城県国際市町議会議長会の総会

国道343号の整備促進、被災跡地の利活用に関する予算枠の確保、震災復興・復興工事に伴う道路維持管理費用への財政措置、地域林業の活性化を国に要望する議案を決定した。

本年度の事業計画として、構成市町の具議との懇談会開催を決めた。